

早朝、2つのiPhoneがこれまでに聞いたことのない警告音を発した。覗いてみると、北朝鮮がミサイルを発射したので「頑丈な建物に避難しろ」とのことである。しかし、頑丈な建物など近くにはない。なすすべもなく、「不完全な非常用バッグ」と車のキーをもち、時間が過ぎるのをただ待った。この間勿論TV各局は飛来予想地域を表した日本地図と安全な場所へ避難しろという放送を続けた。

しかし、よくよく見ると飛来予想地域（県単位）がおかしい。まず範囲が広すぎる。北海道から新潟、関東北部までとなっている。どんな迷走台風でもこんなに広い予想領域は無い。しかし、それも仕方がない、何しろ恐ろしさが格段に異なるのだから。

しかし、それでも何かおかしい。群馬県が飛来予想地域になっているにもかかわらず、その先の埼玉と東京は危険な地域とはなっていない。また栃木・茨城が飛来予想地域にもかかわらず千葉と東京はその範囲ではなく、安全なのである。

更に、長野県は飛来予想となっているが、発射地点平壤近郊順安と長野の延長線上にある東京はその地域ではない。順安と東京との距離は約1300km。これよりも遥かに遠い北海道襟裳岬までは約1600kmである。この距離から判断するならば、当然東京は飛来可能範囲に入るはずだ。埼玉も千葉も神奈川県も同様である。すなわち、アベ政権は自分たちが活動する東京（その周辺）には刺激を与えず、一方で戦争の脅威に対する防衛心を最大限の日本国民に植え付けようと企んだとしか思えないJALERT発信域の選択である。

（敢えて最大限好意的にとらえるならば、それでも地方を馬鹿にしているののであるが、この地域でのJALERTのトライアルと一方で都会の混乱を避けようとした発信域の選択か）

戦争を経験したことが無い者にも恐怖心を与えるようなサイレンがJALERTに同調し早朝から鳴り響いた。戦争か？とってしまうような怖い朝だった。

アベ首相のいつもの無責任な発言がその後流れた：「政府としては発射直後からミサイルの動きを完全に把握しており・・・」これをあの田崎さんは自慢げに「何でもお見通しのアベ首相」と言いたげに語る。それなら、飛来予想域を日本のほぼ半分となる広範囲としたJALERTとは何なのか。逆に、発射前から予期していたなら、東京とその周辺を除いた地域に発した脅しのような警戒警報とは何なのか。あの差別発言「こんな人たちに」を連想させられる。

さらに続けて「(政府としては)国民の生命を守るために万全の態勢を取ってきた。」それでは今朝あの時なすすべもなくおろおろとした者など人っ子一人いないはずである。

JALERT 発信地域

北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、長野県

今回発射のミサイル飛行情報

飛行距離：約2700km、飛行時間約14分（発射時刻5:58、着水時刻6:12）

速さ：秒速約3200m、時速：11600km/h、マッハ約9.5（音速340m/sとして）